

第6回和光ブランド認定推進委員会
会議録（要旨）

日時 平成28年1月27日（水）

10:00～

場所 和光市役所 第2委員会室

出席 委員（◎委員長、○副委員長）

- | | | | |
|--------|----------|----|---------------------|
| ◎第1号委員 | 郭 洋春 | 委員 | （立教大学 経済学部長・教授） |
| ○ | 〃 政所 利子 | 委員 | （株式会社 代表取締役） |
| 第2号委員 | 池田 正 | 委員 | （有限会社池田物産 代表取締役） |
| 第3号委員 | 池田 作冶 | 委員 | （あさか野農業協同組合 和光支店） |
| ○第4号委員 | 吉澤 茂 | 委員 | （株式会社スカイ・テクノ 代表取締役） |
| 第5号委員 | 安田 栄子 | 委員 | （ラマンドール株式会社 代表取締役） |
| 第6号委員 | 梅沢 直 | 委員 | （市民公募） |
| | 〃 齋藤 万理子 | 委員 | （市民公募） |

事務局

産業支援課長	深野 素明
産業支援課課長補佐	遠藤 秀和
産業支援課	井上 祐太

傍聴 0人

司会進行 産業支援課長 深野 素明

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

(1) 認定審査方法について

(2) 認定審査会について

- ・ 10 : 20 ~ 株式会社 田中屋菓子舗

「和光サブレ」

- ・ 10 : 50 ~ 耐震補強研究所 株式会社

「耐震セーフティ工法・三角火打金物」

- ・ 11 : 20 ~ 有限会社 鈴木製麺所

「手もみ新倉うどん」

4 その他

5 閉会

【議事内容】

3 議事

(1) 認定審査方法について

事務局説明

和光ブランド認定審査方法について説明します。

まず最初に申請者の方から最大で10分間、認定申請書に記載されています商品等の特性（和光らしさ、独自性・優位性、信頼性・安全性、市場性・将来性、その他セールスポイント）について説明していただきます。

次に質疑応答を5分間行い、その後、評価表の記入をしていただきます。

また、評価の合格点は、65点の配点うち委員の皆さんの平均が45点（70%）となっています。

また、本日審査します3件につきましては、平成25年2月に和光ブランドとして認定し、今年の1月をもって認定期間が満了する商品です。今回の申請は、更新申請となりますので、審査にあたりましては、認定期間の3年間の実績、成果、課題などについても加味して審査を行っていただきますようお願いいたします。また、今回認定されますと平成28年2月～平成31年1月までが新たな和光ブランドの認定期間となります。また、今回、認定期間が切れて更新の認定申請がなかったものは、1件となっております。以上で説明

を終わります。

(2) 認定審査会

① 10:20～ 株式会社 田中屋菓子舗

「和光サブレ」

(申請者説明) 申請書のとおり

質疑応答

(委員) 和光ブランドに認定されるメリットは。

(申請者) ネットや口コミなどをおしてお客様が来店してくれます。

(委員) 感覚として何パーセント増になったか。

(申請者) 10パーセントから20パーセントは上がっていると思います。

(委員) 和光ブランドのシールを貼るなどの考えはありますか。

(申請者) 認定書を店内に掲示したり和光ブランドについて説明はしますが和光ブランドのシールを貼るなどはしていません。

(委員) 味や見た目を変えるなどはしましたか。

(申請者) 抹茶を練りこんだものなどがございます。

(委員) デザインを新しくすることは。

(申請者) 値段をぎりぎりに抑えているのでデザインの変更ができません。

(委員) 独自に和光サブレをPRする取り組みはしていますか。

(申請者) 手売りにこだわっており、和光に来て直接買っていただきたいという思いからこの販売方法のみで長年行っております。

(集計・報告) 《更新》

② 10:50～ 耐震補強研究所 株式会社

「耐震セイフティ工法・三角火打金物」

(申請者説明) 申請書のとおり

質疑応答

(委員) 和光ブランドによるメリットとデメリットもしくは要望はありますか。

(申請者) 市民からの問い合わせがありました。またもっとPRしてもらい、リフォーム等に使ってもらいたいです。

(委員) 一戸建てにはどのくらい使用するものですか。

(申請者) 建物にはよりますが10～20本ぐらい使えば強度も十分だと思います。

(委員) 市内で施工したことはありますか。

(申請者) 市内ではありません。ただ行政や知らない地方からの依頼など幅広くあります。

(委員) 個人からの問い合わせはどのように対応されていますか。

(申請者) 私やメーカーからも直接販売しております。

(委員) 特許や認証を数多く受けているなかで和光ブランドである意味はあるのか。

(申請者) 市の役に立ちたいという思いと和光から耐震を広めていきたいという思いがあり更新申請しました。

(委員) もっと広めたいという思いはあるか。

(申請者) 販売意欲は無く、見て知って購入してもらえればいいかなと思っています。

(委員) 価格はこれからも1台9,500円で続けるのか。

(申請者) 安く販売したいのですが埼玉県の上尾のみで生産しているため値引は出来ず、この価格で販売しております。

(委員) 既存の住宅メーカーとタイアップして販売したいとは思いませんか。

(申請者) 思いはありますがなかなか難しいのが現状です。

(委員) 素人でも付けられますか。

(申請者) 付けられます。

(集計・報告) <<更新>>

③ 11:20～ 有限会社 鈴木製麺所

「手もみ新倉うどん」

(申請者説明) 申請書のとおり

質疑応答

- (委員) もやもやさま〜ずの出演は市から和光ブランドとして認定されたこと
によって市から出演を紹介されたということですか。
- (申請者) 私が歌を歌うのが有名でもやもやさま〜ずから直接出演の依頼があり
ました。
- (委員) 販売価格はいくらですか。
- (申請者) 500グラム400円で販売しています。1人前は130グラム17
0円でクロシエット・ドゥ・ボワにて販売しております。
- (委員) うどんの粉はどこの粉を使用していますか。
- (申請者) オーストラリアやアメリカ、日本のものをブレンドしています。
- (委員) 国産100パーセントにはできませんか。
- (申請者) 高くて出来ません。
- (委員) 作るといくらになりますか。
- (申請者) 分かりません。
- (委員) 和光ブランドに認定されたことによって商品が紹介しやすくなったと
いうことなんですけれどもこれからも和光ブランドが商品拡大に繋がる
見込みというのがありますか。
- (申請者) はい。商品拡大に繋がるよう努力はしております。中小企業ですので
生き残っていけるよう努めております。
- (委員) 学校給食にもなっているんですか。
- (申請者) はい。和光市内の小中学校計11校と保育園にうどんを出しています。
- (委員) うどんは全部手もみですか。
- (申請者) 手もみでないものもあります。手もみでないものは注文がありまして企
業などにふつうのうどんとして販売しています。
- (委員) これは非常にブランドらしい商品とっていて、ただ残念なのがこれ
を食べられるお店がクロシエット ドゥ ボワでしかないのが残念だ
と思うんですけどもいかがお考えですか。
- (申請者) やってみたいという思いはあるんですけどね。
- (委員) 手軽に食べられないとなかなか広がらないと思いますが、タイアップ
したり出店するという考えはありませんか。
- (申請者) 課題だとは考えてはおります。

(申請者) 私自身、父から60年受け継いできて池田屋さんの出汁や和光市のものをなるべく使い、いろいろ開発したいんですけども費用の面などで市のご協力をいただけたらと思います。クロシェット・ドゥ・ボワで出していますがフレンチなのでうどんが頻繁に出るというわけでもないので、やはりうどん専門店という形で出さないと広まらないのかなと思います。

(集計・報告) 《更新》

4 その他
特になし